

## 第2章本文別表

### 別表リスト

番号	活動	歴史的風致	建造物
1	六斎念仏	祈りと信仰のまち京都	寺社
2	大念仏狂言	祈りと信仰のまち京都	寺社
3	六地藏巡り	祈りと信仰のまち京都	寺院
4	やすらい花	暮らしに息づくハレとケのまち京都	神社
5	剣鋒の祭り	暮らしに息づくハレとケのまち京都	神社
6	送り火	暮らしに息づくハレとケのまち京都	寺院
7	花街	ものづくり・商い・もてなしのまち京都	歌舞練場
8	山科祭	京の街道とその周辺	神社

#### (別表1) 六斎念仏 (祈りと信仰)

番号	名称	保存会名称	奉納場所	創建
①	吉祥院六斎	吉祥院六斎保存会	吉祥院天満宮	延暦23年(880)
②	千本六斎会	千本六斎会	引接寺(千本ゑんま堂)	寛仁元年(1017)
③	梅津六斎	梅津六斎保存会	梅宮大社	平安初期
④	久世六斎	久世六斎保存会	蔵王堂光福寺	天曆9年(955)
⑤	小山郷六斎	小山郷六斎保存会	上御霊神社	延暦13年(794)
			上善寺(鞍馬口地藏)	貞観5年(863)
			干菜寺(光福寺)	天正10年(1582)
⑥	西院六斎念仏	西院六斎念仏保存会	高山寺	不詳(文明13年(1481)「親長卿記」記載あり)
⑦	西方寺六斎念仏	西方寺六斎念佛保存会	西方寺	承和14年(847)
			干菜寺(光福寺)	天正10年(1582)
⑧	嵯峨野六斎	嵯峨野六斎念佛保存会	松尾大社	四世紀前後
			阿弥陀寺	不詳
⑨	中堂寺六斎	京都 中堂寺六斎会	伏見稻荷大社御旅所	和銅年間(708~715)
			壬生寺	不詳(鑑真(688-763)開山と伝わる)
⑩	壬生六斎	壬生六斎念仏講中	壬生寺, 山崎聖天(大山崎町)	同上
⑪	上鳥羽六斎念仏	上鳥羽橋上釘講中	浄禅寺(鳥羽地藏)	不詳(文覚上人(1139-1203)開基とも伝わる)
⑫	空也踊念仏	六波羅蜜寺空也踊躍念仏保存会	六波羅蜜寺	天曆5年(951)
⑬	桂六斎念仏	桂六斎念仏保存会	地藏寺(桂地藏)	応永23年頃(1416)
—	—	円覚寺六斎念仏講	休会中	—
—	—	空也念仏郡保存会	休会中	—

活動の始期：江戸期に定着

活動の根拠：『京都の六斎念仏調査報告書』（昭和57年発行）

#### (別表2) 大念仏狂言 (祈りと信仰)

番号	名称	保存会名称	奉納場所	創建
①	壬生狂言	壬生大念仏講	壬生寺	不詳(鑑真(688-763)開山と伝わる)
②	嵯峨大念仏狂言	嵯峨大念仏狂言保存会	清凉寺(嵯峨釈迦堂)	永延元年(987)
③	千本ゑんま堂大念仏狂言	千本ゑんま堂大念仏狂言保存会	引接寺(千本ゑんま堂)	寛仁元年(1017)
④	神泉苑大念仏狂言	神泉苑大念仏狂言講社	神泉苑	延暦13年(794)

活動の始期：①～③鎌倉時代末、京都で円覚上人が遊戯即念仏の妙理を広めるために始めた。④明治38年壬生狂言から独立

活動の根拠：『日本歳事史(京都の部)』（大正11年(1922)発行）

#### (別表3) 六地藏巡り

番号	地藏名	地域名(行政区)	寺院名	街道名	幡色	創建
①	伏見六地藏	六地藏(伏見)	大善寺	奈良街道	白	慶雲2年(705)
②	鳥羽地藏	上鳥羽(南)	浄禅寺	西国街道	黄	不詳(文覚上人(1139-1203)の開基によるとも)
③	桂地藏	桂の里(西京)	地藏寺	山陰街道	緑	応永23年(1416)前後
④	常盤地藏	常盤院(右京)	源光寺	周山街道	白	不詳(平安時代末期か)
⑤	鞍馬口地藏	鞍馬口(上京)	上善寺	若狭街道	赤	貞観5年(863)
⑥	山科地藏	四ノ宮(山科)	山科地藏堂(徳林庵)	東海道	青	天文年間(1532-1555)

活動の始期：寛文年間（『山城州宇治郡六地藏菩薩縁起』寛文5年(1665)）

活動の根拠：『日本歳事史(京都の部)』（大正11年(1922)発行）

#### (別紙4) やすらい花

番号	祭名	保存会名称	拠点	創建
①	今宮やすらい祭	今宮やすらい会	今宮神社(登録有形文化財)	長保3年(1001)
②	上賀茂やすらい祭	上賀茂やすらい踊保存会	上賀茂神社(国宝)	文武天皇2年(698)以前(続日本紀)
③	川上やすらい祭	川上やすらい踊保存会	川上大神宮	天長10年(833)か
④	玄武やすらい祭	玄武やすらい踊保存会	玄武神社	元慶2年(878)か(宝暦4年(1754)「山城名跡巡行志」の記載が初出)

活動の始期：平安中期（『百鍊抄』久寿元年(1154)に記載あり）

活動の根拠：『日本歳事史（京都の部）』（大正11年（1922）発行）

#### (別紙5) 剣鉾の祭り

番号	神社名	祭礼の名称[別名]	創建	活動50年以上の根拠	
春の剣鉾の祭り	1	熊野神社	熊野神社の神幸祭	弘仁2年(811)	昭和33年(1958)の古写真に祭りの様子が写る
	2	神泉苑	神泉苑の神泉苑祭	延暦13年(794)	剣を収める箱に明治19年(1886)の記載あり
	3	清和天皇社	清和天皇社の春季例祭	奈良時代末か、『続日本記』に記載あり	鉾に寛延4年(1627)の銘あり
	4	大豊神社	大豊神社の氏神祭	寛仁年間(1017-1021)	葵鉾の収納箱に明治7年(1874)の記載あり
	5	紫野今宮神社	紫野今宮神社の今宮祭	正暦5年(995)	「京都御役所向大概覚書」(享保2年(1717))に今宮祭氏子域の記載あり
	6	八大神社	八大神社の上一乗寺氏子祭 [一乗寺八大神社の剣鉾差し(市登録無形民俗文化財)]	応仁2年(1294)	『諸国図会年中行事大成』(文化3年(1806))に記載あり
	7	鷺森神社	鷺森神社の神幸祭	貞観年間(859-877)	『諸国図会年中行事大成』(文化3年(1806))に記載あり
	8	崇道神社	崇道神社の大祭	貞観年間(859-877)	『拾遺都名所図会』『高野社』(天明7年(1787))に祭礼の記載あり
	9	八瀬天満宮社	八瀬天満宮社の例祭	不詳(撰社秋元神社は正徳4年(1714))	『日本歳事史 京都の部』(大正11年(1922))に祭礼の記載あり
	10	地主神社	地主神社の神幸祭	延暦年間(782-806)	剣鉾の鋳受(額裏に「文化三歳」の銘あり)
	11	藤森神社	藤森神社の藤森祭	貞観5年(863)	『康富記』(応永8年(1401))に祭りの記載あり
	12	須賀神社	須賀神社の例祭	栄治2年(1142)	『日次紀事』(1676)に神事の記載あり
	13	新日吉神宮	新日吉神宮の小五月会	永暦元年(1160)	12世紀の日記類に記事あり
	14	山王神社	山王神社の大祭	一条天皇在位中(986-1011)か	『京都御役所向大概覚書』巻五(享保2年(1717)頃成立)に記載あり
	15	菅大臣神社	菅大臣神社の例祭	不詳(明治6年(1873)曼殊院から独立)	『都名所図会』巻之二に祭日の記載あり
	16	市比賣神社	市比賣神社のいちひめまつり	延暦14年(795)	『京華要誌』(明治28年(1895))に記載あり
	17	金札宮	金札宮の春季例大祭	天平勝宝2年(750)か	『日次紀事』(1678年刊)に記載あり
	18	吉田神社	吉田神社の氏子講社大祭	貞観元年(859)	昭和32年吉田氏子講社結成
	19	元祇園柳神社	元祇園柳神社の神幸祭	貞観年間(859-877)	『京都神社誌』(昭和9年6月刊)に記載あり
	20	京都ゑびす神社	京都ゑびす神社の例大祭・神幸祭	建仁2年(1202)	『祇園社家記録』の観応元年(1350)9月9日に記載あり
	21	御霊神社(上御霊神社)	御霊神社(上御霊神社)の御霊祭	不詳(平安遷都以前)	『御鈴吹散等奉納并町方江渡覚』(安政四年(1857)頃編纂)に剣鉾の記載あり
	22	下御霊神社	下御霊神社の下御霊祭還幸祭	不詳(平安遷都以前)	『日本歳事史』に記載あり
	23	愛宕神社・野宮神社	愛宕神社・野宮神社の嵯峨祭[嵯峨祭の剣鉾差し(市登録無形民俗文化財)]	大宝年間(701-704)	『山城四季物語』1674年刊に記載あり

番号	神社名	祭礼の名称[別名]	創建	活動50年以上の根拠
24	三嶋神社	三嶋神社の神幸祭	永暦元年(1160)	鉦に宝暦5年(1755)の刻銘あり
25	晴明神社	晴明神社の晴明祭	寛弘4年(1007)	鉦に明和8年(1771)の刻銘あり
26	住吉神社	住吉神社の住吉祭	延暦年間(782-806)	昭和6年(1931)生まれ話者からの聞き取り
27	瀧尾神社	瀧尾神社の神幸祭	不詳(京都府地誌に天正14年(1586)移轉の記事あり)	『京都坊目誌』(1915)に記載あり
28	北野天満宮	北野天満宮の瑞饋祭[西ノ京瑞饋神輿(市登録無形民俗文化財)]	天曆元年(947)	明治8年(1875)に京都府から神輿渡御復興の許可が出され、祭礼の運営組織として梅風講社が結成された(『北野天満宮社報』)
29	御香宮神社	御香宮神社の御香宮祭礼	貞観4年(862)	『御香宮神社』(1915)に鉦の記載あり。
30	平岡八幡宮	平岡八幡宮の秋季例祭[梅ヶ畑平岡八幡宮の鉦差し(市登録無形民俗文化財)]	大同4年(809)	『京都御役所向大概覚書』(享保4年(1717)頃)に記載あり
31	粟田神社	粟田神社の粟田祭	清和天皇貞観18年(876)	『華頂要略』(享和3年(1803)から弘化3年(1846))に記載あり
32	五条天神社	五条天神社の氏子祭	延暦13年(794)	『日本歳事史 京都の部』(大正11年(1922))に祭礼の記載あり
33	山國神社	山國神社の山国祭	長和5年(1016)	『丹波国山国注史料』の「天正由緒書」(天正14年(1586))に神事役の記載あり
34	北白川天神宮	北白川天神宮の秋季大祭	不詳(延喜8年(908)以前)	『雍州府志』(貞享3年(1686)に祭りの記載あり)
35	吉田神社末社今宮社	吉田神社末社今宮社の神幸祭	不詳(建保3年(1215)以前)	『兼右卿記』(永禄6年(1563))に記載あり
36	春日神社	春日神社の春日祭[西院春日神社の鉦差し(市登録無形民俗文化財)]	天長10年(833)	『日次紀事』(延宝4年(1676))に祭りの記載あり
37	長谷八幡宮	長谷八幡宮の秋季大祭	天安元年(857)	『後法興院記』(文明九年(1477)),『兼見卿記』(天正4年(1576))に記載あり
38	木嶋座天照御魂神社(蛭ノ社)	木嶋座天照御魂神社(蛭ノ社)の神幸祭	不詳(7世紀ごろか)	昭和24年(1949)の記録あり
39	大森賀茂神社	大森賀茂神社の秋季大祭	不詳(平安遷都以前)	『京都古習志』(昭和15年(1940))に記載あり
40	三栖神社	三栖神社の三栖祭[炬火祭(市登録無形民俗文化財)]	不詳(平安遷都以前)	『史料京都の歴史』第16巻伏見区に記載あり
41	熊野神社	熊野神社の秋季例大祭	天福元年(1233)	鉦に明治32年(1899)の刻銘あり
42	八幡宮社	八幡宮社の秋の大祭	貞観元年(859)	鉦に明治25年(1892)の刻銘あり
43	岡崎神社	岡崎神社の氏子大祭	貞観11年(869)	『雍州府志』(17世紀後半)に記載あり
44	山ノ内山王神社	山ノ内山王神社の山王祭	不詳(白河天皇(1073-1087)の頃か)	昭和27年就任の宮司からの聞き取り
45	住吉大伴神社	住吉大伴神社の秋祭り	貞観8年(866)	鉦を収める箱に明治32年(1899)の記載あり
46	福王子神社	福王子神社の秋季大祭	不詳(寛永21年(1644)頃復興)	『京羽二重織留』(元禄2年(1689))に祭りの記載あり
47	花園今宮神社	花園今宮神社の神幸祭	長和4年(1015)	吹散の箱に天保11年(1840)の記載あり
48	城南宮	城南宮の城南祭	不詳(応徳3年(1086)鳥羽離宮造宮以来鎮守社として祀られる)	『京都御役所大概覚書』(江戸時代中期)に氏子域の記載あり
49	由岐神社	由岐神社の例祭[鞍馬火祭(市登録無形民俗文化財)]	天慶3年(940)	『京都古習志』(昭和15年(1940))に記載あり
50	石座神社	石座神社の例大祭[岩倉火祭(市登録無形民俗文化財)]	天禄2年(971)	鉦に嘉永5年(1852)の銘あり
51	幡枝八幡宮社	幡枝八幡宮社の秋季大祭	寛平6年(894)	『幡枝八幡宮由緒』(昭和45年(1960)発行)に明暦元年(1655)太刀奉納の記載あり
52	八神社	八神社の秋季大祭	不詳(大同年間(806-810)又は延喜年間(901-923)か)	『東西歴覽記』(延宝9年(1681))に祭りの記載あり
53	新宮神社	新宮神社の例大祭	徳治2年(1307)	『山城名勝巡行志』(正徳元年(1711)刊行)に祭りの記載あり
54	天道神社	天道神社の例大祭	延暦13年(794)	『山州名跡志』(正徳元年(1711))に祭りの記載あり

秋の鉦の祭り

活動の始期：平安中期（『百鍊抄』久寿元年(1154)に記載あり）

活動の根拠：『日本歳事史（京都の部）』（大正11年（1922）発行）

### (別表6) 五山送り火

送り火	保存会名称	活動場所	菩提寺等	創建
大文字	(特非)大文字保存会	如意ヶ嶽	浄土院	文明14年(1482)以降(足利義政により東山殿(後の銀閣寺)が浄土寺の跡地に造営された後)
妙法	(公財)松ヶ崎立正会	西山	涌泉寺	大正7年(1918)に本涌寺と妙泉寺が合併、本涌寺は天正2年(1574)に開創
		東山	妙円寺(松ヶ崎大黒天)	元和2(1616)年
船形	船形萬燈籠保存会	西賀茂船山	西方寺	承和14年(847)(大辞典)
左大文字	左大文字保存会	大文字山	法音寺	平安初期(慈覚大師(794-864)の創建とも伝わる)
鳥居形	鳥居形松明保存会	曼荼羅山	化野念仏寺	弘仁年間(810-924)空海(弘法大師)により開基(大辞典、京都風光)

活動の始期：一説には、戦国時代に盛んに行われた万灯会が、次第に山腹に点火され、盂蘭盆会の大規模な精霊送りの火となったのが起源と言われる。

活動の根拠：大・左大文字・妙法は明治20年朝日新聞、船形・左大文字・鳥居は昭和34年朝日新聞

### (別表7) 京都の花街

花街	歌舞練場名	をどり名	花街の起源	建築年	活動の始期
上七軒	上七軒歌舞練場	北野をどり	17世紀前半	(劇場)昭和6年(1931)、昭和12年(1937)改築	昭和27年(1952)
祇園甲部	祇園甲部歌舞練場	都をどり	寛文5年(1665)	(本館)大正2年(1913)(登録有形文化財)	明治5年(1872)
先斗町	先斗町歌舞練場	鴨川をどり	1674年	昭和2年(1927)	明治5年(1872)
宮川町	宮川町歌舞練場	京をどり	宝暦元年(1751)	(歌舞練場)大正5年(1916)、昭和44年(1969)改装	昭和25年(1950)
祇園東	祇園会館	祇園をどり	明治14年(1881)	昭和33年(1958)	昭和27年(1952)

活動の根拠：当時のプログラムや京都市文化財保護課調査による

### (別表8) 山科の神社

番号	神社名	創建	根拠	氏子域
①	三之宮神社	延喜年間(901-923)	(石灯笼刻銘)天和4年(1684)	東野、西野
②	山科神社	寛平9年(897)	(鳥居刻銘)万治3年(1660)	西野山
③	岩屋神社	仁徳天皇31年(343)	(石灯笼刻銘)天和3年(1863)	大宅、大塚、柳辻、御陵、日ノ岡(一部)、厨子奥、小野
④	八幡宮(百々)	不詳	(石灯笼刻銘)天保3年(1833)	西野山(一部)
⑤	朝日神社	1730年(朝日神社御神体墨書)	(石灯笼刻銘)宝永7年(1710)	栗栖野
⑥	白石神社	大同年間(806-809)	(石灯笼刻銘)天保12年	小山
⑦	諸羽神社	貞観4年(862)	(石灯笼刻銘)明治14年(1881)	四ノ宮、竹鼻、安朱、髭茶屋
⑧	勸修寺八幡社(吉利俱八幡)	仁寿3年(853)	(石灯笼刻銘)慶応2年(1860)	勸修寺
⑨	若宮八幡宮	天智天皇元年～8年(662～669)	(鳥居刻銘)寛永2年(1749)	音羽、小山(一部)、髭茶屋
⑩	北花山六所神社	元慶年間(877～884)	(大鳥居刻銘)1900年	北花山、西野(一部)
⑪	上花山六所神社	天文12年(1543)	明治10年代府庁文書『宇治郡神社明細帳』に記載あり	上花山

活動の始期：『本朝月令』(寛平10年)により山科神社の祭礼が官祭とされたことに始まる。

活動の根拠：『山科家礼記』(寛正4年(1463)ほか)、『教言卿記』(応永15年(1408)ほか)、『言国卿記』などに祭りの記載が残る。

『日次記』(妙法院日次記)(寛文12(1672)から明治元年(1868)まで)や『雍州府志』(天和2年(1682))にも記載あり。